

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和7年9月22日  
11時53分06秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係

事務事業 02748 環境保全協働推進事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 1.6 環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	001 環境保全協働推進事業			
事業期間	平成8年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	多くの市民が
目的	ごみ減量に関心を持ち、ごみ減量を協働で行えるようになります。
手段	市民、事業者、行政との協働によるごみ減量、資源循環型社会の推進を図るため、ごみ減量推進委員会を開催し、ごみ減量施策の調査、検討、構築を行うとともに市民活動を促進するため市民活動支援プログラムの運用、説明会等による啓発活動を実施します。ごみの再資源化を促進するため集団資源回収に対する報償金事業を実施します。
事務内容	ごみ減量推進委員会の設置、運用を行います。 住民説明会を開催し、周知をはかります。 集団資源回収報償金を支払います。

## 【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	25,074	24,132	29,885
国庫支出金	21,114	20,112	26,385
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	21,114	20,112	26,385
人件費計	3,960	4,020	3,500
正規(人)	0.60	0.60	0.50
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動支援、集団資源回収報償金の交付、プラスチック資源一括回収開始に向けた説明会の実施	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動支援、集団資源回収報償金の交付、ごみ減量推進委員会におけるごみ処理手数料改定の審議	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発、市民活動支援プログラムによる活動支援、集団資源回収報償金の交付

# 事務事業評価シート（2/2）

2頁  
令和7年9月22日  
11時53分06秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係  
事務事業 02748 環境保全協働推進事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住民説明会の参加人数	人	1,300.00 1,956.00	0.00 372.00	450.00 0.00
市民活動支援プログラムによる活動	回	20.00 36.00	0.00 27.00	20.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	1 市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	3 市民ニーズはない又は不明である		
1	資源循環を目指し、団体による資源回収活動を支援しています。	資源循環を目指し、団体による資源回収活動を支援しています。	理由
	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	2 目標を下回る進捗状況である		
1	3 進捗はかなり遅れている		
2	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	目標に対する進捗状況	有効性
	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	きめ細かい対応を実施しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後も市民の環境に対する意識を高められるように、これまでの啓発活動を見直すとともに、新たな啓発活動の検討・実施に努めます。
2次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和7年9月22日  
11時53分06秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係  
事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	002 ごみ減量化推進事業			
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	啓発を受けた市民・子ども達が広く
目的	ごみ減量を始めとした環境保全に対して関心をもつようになり、ごみ排出量が削減されます。
手段	環境学習をする小学4年生を対象に、施設見学とビデオによるごみ減量の必要性や環境教育のためのクリーンバス事業を実施するとともに、市民向けにはごみの発生抑制や分別の啓発、生ごみ処理機器の購入費用を補助し、ごみの減量と循環型社会への意識向上を図る環境保全啓発活動を実施します。
事務内容	市指定ごみ袋の発注製作と生ごみ処理機の購入補助を行います。 クリーンバス事業、広報などによるごみ減量及び環境教育、環境保全の啓発を行います。

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	188,927	125,335	142,589
国庫支出金	182,327	117,295	132,789
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	144,164	99,189	108,194
一般財源	38,163	18,106	24,595
人件費計	6,600	8,040	9,800
正規(人)	1.00	1.20	1.40
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	市指定ごみ袋の製作、広報等によるごみ減量啓発、生ごみ処理機器の購入補助、市内小学4年生を対象としたクリーンバスの実施、ごみ処理手数料改定の検討	市指定ごみ袋の製作、広報等によるごみ減量啓発、生ごみ処理機器の購入補助、市内小学4年生を対象としたクリーンバスの実施、ごみ処理手数料改定の検討	市指定ごみ袋の製作、広報等によるごみ減量啓発、生ごみ処理機器の購入補助、市内小学4年生を対象としたクリーンバスの実施、ごみ処理手数料改定及び周知

# 事務事業評価シート（2/2）

4 頁  
令和 7 年 9 月 22 日  
11 時 53 分 06 秒

評価年度 令和 6 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係  
事務事業 02749 ごみ減量化推進事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
生ごみ処理機器設置補助	基	150.00 171.00	0.00 214.00	200.00 0.00
クリーンバスの実施	参加学校数	21.00 21.00	0.00 21.00	21.00 0.00
乾燥生ごみ交換重量	k g	4,000.00 3,902.00	0.00 3,788.00	4,000.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
1	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性
1	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性
	概ね目標程度の実績となっています。		
	補助対象の拡充により生ごみ処理機器の購入数は増加しています。		
	継続してごみ減量化の啓発を行っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 ごみ減量化について、更なる市民協働の充実に努めるとともに、新たな事業展開を検討していきます。
1 次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2 次評価を実施していません。
2 次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

5 頁  
令和 7 年 9 月 22 日  
11 時 53 分 06 秒

評価年度 令和 6 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係

事務事業 02750 地域環境美化事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 1 6 環境			
施策の取組	005 環境学習・環境行動			
事務事業	003 地域環境美化事業			
事業期間	平成元年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	安城市ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	広く市民が
目的	地域環境の美化のため、自主的に清掃活動に参加するようになります。
手段	地域環境美化のため、アダプトプログラム制度の推進や地域クリーン推進員の養成を通じ、環境美化活動の啓発支援を行います。
事務内容	町内一斉清掃、アダプトプログラムの活動支援を行います。

## 【コスト】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	7,681	8,445	9,521
国庫支出金	3,721	4,425	5,321
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,721	4,425	5,321
人件費計	3,960	4,020	4,200
正規(人)	0.60	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
【事務事業活動実績】	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催	町内一斉清掃、アダプトプログラムなどボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の養成研修会の開催

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和7年9月22日  
11時53分06秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282020 ごみ資源循環課ごみ減量係  
事務事業 02750 地域環境美化事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アダプト団体登録数	団体数	78.00 80.00	0.00 76.00	76.00 0.00
「町を美しくする運動」活動実施数	回	150.00 107.00	0.00 90.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
1	環境美化のための活動を各団体が積極的に行っています。	目標に対する進捗状況	有効性
2	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	効率性
1	概ね目標程度の実績となっています。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	効率的な事業展開を図るよう検討しています。	事業規模・サービス水準	公平性
1	きめ細かい対応を実施しています。	事業規模・サービス水準	公平性

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 今後も地域における環境美化活動の啓発支援を実施するとともに、効率的な事業展開を検討していきます。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和7年11月18日  
13時12分08秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02751 塵芥収集事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	003 塵芥収集事業			
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを分別して出すことができるようになります。
手段	びん、缶、ペットボトル等の収集を直営業務とし、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチック製容器包装（令和6年1月からはプラスチック資源）及び古紙古着の収集を委託業務としています。
事務内容	日常生活から出るごみ（可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ）を収集しています。

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	671,644	738,395	790,301
国庫支出金	513,904	578,265	615,301
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	6,383	6,210	5,268
一般財源	507,521	572,055	610,033
人件費計	157,740	160,130	175,000
正規（人）	23.90	23.90	25.00
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ27,719t、不燃ごみ830t、プラスチック製容器包装958t、プラスチック資源349t、缶379t、びん1,173t、古紙・古着994tを収集しました。	可燃ごみ26,784t、不燃ごみ722t、プラスチック資源1,453t、缶344t、びん1,147t、古紙・古着958tを収集しました。	可燃ごみ26,759t、不燃ごみ688t、プラスチック資源1,493t、缶343t、びん1,142t、古紙・古着941tのごみステーション収集を実施します。

# 事務事業評価シート（2/2）

2頁  
令和7年11月18日  
13時12分08秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02751 麦芥收集事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
容器包装プラスチックごみの資源化率	%	95.00 91.66	0.00 0.00	0.00 0.00
プラスチック資源の資源化率	%	91.15 97.93	0.00 96.83	95.00 0.00
容器包装プラスチックは令和6年1月からプラスチック資源で回収		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	法令に規定された市の責務を履行します。		
	1 市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	3 市民ニーズはない又は不明である		
1	家庭ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	目標に対する進捗状況	有効性
	2 目標を下回る進捗状況である		
	3 進捗はかなり遅れている		
1	目標を上回っているが、さらにごみの分別を啓発します。		
	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
2	収集品目の変更などごみの効率的な回収について検討しています。		
	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	先進的な取り組みを行い、利便性の向上に取り組んでいます。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 法令により一般廃棄物の処理責任は市に課されており、合理化と効率化を念頭に着実に事業を遂行します。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02752 不法投棄対策事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画		
重点戦略	003 ばしょ		
分野別	005 1.6環境		
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量		
事務事業	004 不法投棄対策事業		
事業期間	平成元年度～		
実施方法	一部委託		
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的
重点戦略		マニフェスト	性質別費目
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		
備考			

## 【事業分析】

対象	不法投棄された場所の近隣住民が
目的	不法投棄ごみのない快適な環境で生活できます。
手段	町内会への不法投棄防止用監視カメラの貸与事業、不法投棄パトロール業務及び不法投棄物の処分業務を実施します。
事務内容	監視カメラを設置して不法投棄の抑制を図るとともに、不法投棄され処理に困っている特定家電5品目、消火器及び自動車のタイヤ等を処理します。

## 【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	6,805	10,002	11,218
事業費	4,825	7,322	8,418
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	913	1,040	1,531
一般財源	3,912	6,282	6,887
人件費計	1,980	2,680	2,800
正規(人)	0.30	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	監視カメラ16台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事業抑制に努めました。	監視カメラ18台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事業抑制に努めました。	監視カメラ20台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行います。不法投棄監視パトロールの実施による事業抑制に努めます。

# 事務事業評価シート（2/2）

4 頁  
令和 7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02752 不法投棄対策事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
家電 5 品目の不法投棄 台数（指定引取場所搬入台数）	台	150.00 76.00	0.00 78.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公共用地の管理責任に基づいて行います。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	良好な地域環境の維持と不法投棄抑止に寄与します。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	抑止効果も認められますが、新たな不法投棄も発生しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	町内会との連携強化に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	不法投棄に対し、適正な措置を講じています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 一般廃棄物の処理責任は法令により市に課されており、合理化と効率化を念頭に着実に遂行します。
1次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

5 頁  
令和 7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係

事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	005 資源再生化事業（中間処理等事業）			
事業期間	平成 9年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	将来の市民が
目的	地球環境破壊や資源枯渇から救われる一助となります。
手段	ペットボトルは拠点回収し資源化センターにおいて、プラスチック製容器包装はごみステーションで収集し安城プラスチックリサイクルセンターで、それぞれ圧縮減容化処理します。これら中間処理したものは、資源リサイクル事業者により資源化しています。令和6年1月からはプラスチック資源を中間処理し、同様に資源化しています。
事務内容	回収されたペットボトルや容器包装プラごみの資源化を行います。令和6年1月からはプラスチック製容器包装とその他のプラスチック製品をプラスチック資源として一括で資源化しています。

## 【コスト】

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	(単位：千円)	
			令和 7年度 予算額	
トータルコスト				
事業費	117,669	140,501	160,570	
国庫支出金	113,709	137,821	157,070	
県支出金	0	0	0	
地方債	5,000	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	25,801	27,368	26,001	
人件費計	82,908	110,453	131,069	
正規（人）	3,960	2,680	3,500	
	0.60	0.40	0.50	
その他経費	0	0	0	

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	ペットボトル458t、令和5年12月までに容器包装プラごみ958t、令和6年1月からプラスチック資源349tを収集し、再生処理をしました。	ペットボトル450t、プラスチック資源1,453tを収集し、再生処理をしました。	ペットボトル454t、プラスチック資源1,493tを収集し、再生処理をします。

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ペットボトルの選別処理量	t	450.00 458.00	0.00 450.00	454.00 0.00
容器包装プラスチックの圧縮梱包処理量	t	966.00 958.00	0.00 0.00	0.00 0.00
プラスチック資源の圧縮梱包処理量	t	390.00 349.00	0.00 1,453.00	1,493.00 0.00
容器包装プラスチック資源は令和6年1月からプラスチック資源で回収		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	法令に規定された市の責務を履行します。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	他のごみは減少傾向の中、処理量はほぼ横ばいです。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	資源の売却先など、経済性と適正処分の確保を目指しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	他自治体との情報交換に努め、適正水準を確保しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	プラスチック資源一括回収の開始により資源ごみのリサイクルを推進しており、さらなる環境負荷の低減に寄与しているため、持続可能な循環型社会の構築に引き続き貢献できると考えています。今後も市民の協力が得られるよう、積極的に周知し、利便性を向上させる必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7 頁  
令和 7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 1 6 環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	006 リサイクルプラザ施設管理事業			
事業期間	平成10年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを適正に排出することができます。
手段	不燃ごみ、粗大ごみの破碎処理を行うとともに、資源物を抽出し再生、再利用を図り資源循環型社会形成に寄与します。
事務内容	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営します。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	473,144	531,985	567,140
事業費	456,644	515,235	549,640
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	96,176	104,966	75,810
一般財源	360,468	410,269	473,830
人件費計	16,500	16,750	17,500
正規(人)	2.50	2.50	2.50
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	不燃粗大ごみ3,301t びん・缶1,552tを破碎 ・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,200t びん・缶1,491tを破碎 ・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,159t びん・缶1,485tを破碎 ・減容、分別し中間処理を行います。

# 事務事業評価シート（2/2）

8頁  
令和7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	法令に規定された市の責務を履行します。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	事後対応の必要な苦情はありませんでした。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	合理性、経済性に留意しつつ、施設の維持管理に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	ごみの搬入量に対して、処理能力の不足は認められません。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	持続可能な循環型社会の構築には、ごみ減量化、資源再生の取組は欠かせないものであり、リサイクルプラザの役割は重要であると認識しています。ただし、経済性や効率性、省エネルギー化や安定処理の観点も踏まえて、施設の維持管理を図る必要があります。
2次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

9 頁  
令和 7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	007 せん定枝リサイクルプラント事業			
事業期間	平成13年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	農業経営を行う市民や園芸を楽しむ市民が
目的	たい肥を利用した農業・園芸を行うことができるようになります。
手段	市民が搬入したせん定枝を粉碎し、醸酵たい肥化を行います。
事務内容	せん定した枝葉をごみとして焼却するのではなく、自然還元による資源循環のためにたい肥を製造して市民等に配布します。

## 【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	91,303	80,216	83,056
事業費	74,803	64,136	66,256
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	10,282	11,460	9,600
一般財源	64,521	52,676	56,656
人件費計	16,500	16,080	16,800
正規(人)	2.50	2.40	2.40
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	せん定枝1,246tを処理 、たい肥817tを配布しました。	せん定枝1,083tを処理 、たい肥723tを配布しました。	せん定枝1,171tを処理 、たい肥897tを配布します。
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート（2/2）

10 頁  
令和 7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
剪定枝葉処理量	t	1,150.00 1,246.00	0.00 1,083.00	1,171.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
2	いきいきたい肥の受取希望者が多く、常に抽選が必要な状況です。	目標に対する進捗状況	有効性
2	せん定枝処理量、たい肥配布量とも減少しました。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	合理性、経済性に配慮しつつ、適正な維持管理に努めています。	事業規模・サービス水準	公平性
	周辺自治体では取組の少ない特色のある事業です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 持続可能な循環型社会の構築には、バイオマス技術を活用した資源化は欠かせないものであると認識していますが、事業の実施にあたっては経済性、効率性、省エネルギー化の観点との整合を図る必要があります。
1次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

11頁  
令和7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02756 最終処分場事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	008 最終処分場事業			
事業期間	平成21年度～令和31年度	41年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	安城市が
目的	リサイクルプラザ等における中間処理で排出した再利用・再資源化が困難なごみを埋立処分します。
手段	市内唯一の埋立最終処分場として、埋立量の極小化に留意しつつ、破碎した不燃残渣のみを埋立しています。
事務内容	リサイクルプラザから出る処分できない埋立ごみ（不燃残渣）の処分場です。

## 【コスト】

	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	(単位:千円)	
			令和7年度 予算額	
トータルコスト	48,244	96,197	94,580	
事業費	44,284	90,837	88,980	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	44,284	90,837	88,980	
人件費計	3,960	5,360	5,600	
正規(人)	0.60	0.80	0.80	
その他経費	0	0	0	

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	搬入量447t（容量換算558m <sup>3</sup> ）の不燃残さを埋立処分しました。	搬入量424t（容量換算530m <sup>3</sup> ）の不燃残さを埋立処分しました。	搬入見込み量486t（容量換算608m <sup>3</sup> ）の不燃残さを埋立処分します。
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート（2/2）

12 頁  
令和 7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02756 最終処分場事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
最終処分場埋立量	t	600.00 447.00	0.00 424.00	486.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
1	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性
2	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性
	当面必要となる最終処分場の安定運用に努めています。		理由

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 新たな埋立処分場の設置は困難であるため、今後も再資源化を促進しつつ、埋立量の抑制による延命化を図り、長期間の供用が可能となるよう努めます。
1次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

13頁  
令和7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02757 資源リサイクル事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	009 資源リサイクル事業			
事業期間	平成14年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	広く市民が
目的	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになります。
手段	市内5箇所のリサイクルステーションを設置し、運営をシルバーパートナーセンターに業務委託を行い、市民の利便性に配慮し、資源ごみの分別促進を図ります。
事務内容	ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置、運営を実施します。

## 【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	44,054	45,125	48,098
事業費	37,454	37,755	40,398
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	11,797	12,359	5,180
一般財源	25,657	25,396	35,218
人件費計	6,600	7,370	7,700
正規(人)	1.00	1.10	1.10
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	リサイクルステーション資源回収量2,417t、古紙・古着資源ステーション収集量994tをリサイクルしました。	リサイクルステーション資源回収量2,359t、古紙・古着資源ステーション収集量958tをリサイクルしました。	リサイクルステーション資源回収量2,376t、古紙・古着資源ステーション収集量941tをリサイクルします。

# 事務事業評価シート（2/2）

14 頁  
令和 7年11月18日  
13時12分09秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02757 資源リサイクル事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
リサイクルステーションの回収量	t	2,500.00 2,417.00	0.00 2,359.00	2,376.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2 理由	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
4 理由	資源を簡便に排出でき、利用日の制約がほとんどありません。	1	2
		2	
		3	
5 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
5 理由	新聞発行数の減少や書籍の電子化で、古紙搬入量は減少傾向です。	1	1
		2	
		3	
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
5 理由	利用促進のため、利便性の向上や周知に取り組んでいます。	1	1
		2	
		3	
5 理由	近隣市と比較し、利便性は十分に確保できています。	1	1
		2	
		3	

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント ( 400 文字 )	これまでの取組により、市民のリサイクルに対する意識が向上し、循環型社会の形成に寄与しています。市民のニーズを把握し、引き続き更なる利便性の向上を図ります。
2次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント ( 400 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート(1/2)

3頁  
令和7年11月4日  
14時12分50秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02752 不法投棄対策事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画		
重点戦略	003 ばしょ		
分野別	005 1.6環境		
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量		
事務事業	004 不法投棄対策事業		
事業期間	平成元年度～		
実施方法	一部委託		
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的
重点戦略		マニフェスト	性質別費目
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		
備考			

## 【事業分析】

対象	不法投棄された場所の近隣住民が
目的	不法投棄ごみのない快適な環境で生活できます。
手段	町内会への不法投棄防止用監視カメラの貸与事業、不法投棄パトロール業務及び不法投棄物の処分業務を実施します。
事務内容	監視カメラを設置して不法投棄の抑制を図るとともに、不法投棄され処理に困っている特定家電5品目、消火器及び自動車のタイヤ等を処理します。

## 【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	6,805	10,002	11,218
事業費	4,825	7,322	8,418
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	913	1,040	1,531
一般財源	3,912	6,282	6,887
人件費計	1,980	2,680	2,800
正規(人)	0.30	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	監視カメラ16台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事業抑制に努めました。	監視カメラ18台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行いました。不法投棄監視パトロールの実施による事業抑制に努めました。	監視カメラ20台を、設置を希望する町内会に6か月単位で貸出しを行います。不法投棄監視パトロールの実施による事業抑制に努めます。

# 事務事業評価シート（2/2）

4 頁  
令和 7年11月 4日  
14時12分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02752 不法投棄対策事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
家電 5 品目の不法投棄 台数（指定引取場所搬入台数）	台	150.00 76.00	0.00 78.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	公共用地の管理責任に基づいて行います。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3 理由	良好な地域環境の維持と不法投棄抑止に寄与します。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4 理由	抑止効果も認められますが、新たな不法投棄も発生しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5 理由	町内会との連携強化に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	不法投棄に対し、適正な措置を講じています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 一般廃棄物の処理責任は法令により市に課されており、合理化と効率化を念頭に着実に遂行します。
1次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 400 文字 )	

## 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

電話番号 0566-76-3053

### 【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画
重点戦略	003	ばしょ
分野別	005	1 6 環境
施策の取組	003	資源循環・ごみ減量
事務事業	005	資源再生化事業(中間処理等事業)
事業期間	平成 9年度 ~	
実施方法	一部委託	
会計区分	一般会計	事業区分 政策的 性質別費目
重点戦略	マニフェスト	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	
備考		

## 【事業分析】

事業内容	
対象	将来の市民が
目的	地球環境破壊や資源枯渇から救われる一助となります。
手段	ペットボトルは拠点回収し資源化センターにおいて、プラスチック製容器包装はごみステーションで収集し安城プラスチックリサイクルセンターで、それぞれ圧縮減容化処理します。これら中間処理したものは、資源リサイクル事業者により資源化しています。令和6年1月からはプラスチック資源を中間処理し、同様に資源化しています。
事務内容	回収されたペットボトルや容器包装プラごみの資源化を行います。令和6年1月からはプラスチック製容器包装とその他のプラスチック製品をプラスチック資源として一括で資源化しています。

【コスト】

【コスト】	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	117,669	140,501	160,570
事業費	113,709	137,821	157,070
国庫支出金	0	0	0
県支出金	5,000	0	0
地方債	0	0	0
その他	25,801	27,368	26,001
一般財源	82,908	110,453	131,069
人件費計	3,960	2,680	3,500
正規（人）	0.60	0.40	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	ペットボトル458t、令和5年12月までに容器包装プラごみ958t、令和6年1月からプラスチック資源349tを收集し、再生処理をしました。	ペットボトル450t、プラスチック資源1,453tを收集し、再生処理をしました。	ペットボトル454t、プラスチック資源1,493tを收集し、再生処理をします。

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和7年11月4日  
14時12分50秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02753 資源再生化事業（中間処理等事業）

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ペットボトルの選別処理量	t	450.00 458.00	0.00 450.00	454.00 0.00
容器包装プラスチックの圧縮梱包処理量	t	966.00 958.00	0.00 0.00	0.00 0.00
プラスチック資源の圧縮梱包処理量	t	390.00 349.00	0.00 1,453.00	1,493.00 0.00
容器包装プラスチック資源は令和6年1月からプラスチック資源で回収		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	法令に規定された市の責務を履行します。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	他のごみは減少傾向の中、処理量はほぼ横ばいです。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	資源の売却先など、経済性と適正処分の確保を目指しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	他自治体との情報交換に努め、適正水準を確保しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	プラスチック資源一括回収の開始により資源ごみのリサイクルを推進しており、さらなる環境負荷の低減に寄与しているため、持続可能な循環型社会の構築に引き続き貢献できると考えています。今後も市民の協力が得られるよう、積極的に周知し、利便性を向上させる必要があります。
2次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7 頁  
令和 7年11月 4日  
14時12分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	006 リサイクルプラザ施設管理事業			
事業期間	平成10年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	ごみを適正に排出することができます。
手段	不燃ごみ、粗大ごみの破碎処理を行うとともに、資源物を抽出し再生、再利用を図り資源循環型社会形成に寄与します。
事務内容	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営します。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	473,144	531,985	567,140
事業費	456,644	515,235	549,640
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	96,176	104,966	75,810
一般財源	360,468	410,269	473,830
人件費計	16,500	16,750	17,500
正規(人)	2.50	2.50	2.50
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	不燃粗大ごみ3,301t びん・缶1,552tを破碎 ・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,200t びん・缶1,491tを破碎 ・減容、分別し中間処理を行いました。	不燃粗大ごみ3,159t びん・缶1,485tを破碎 ・減容、分別し中間処理を行います。

# 事務事業評価シート（2/2）

8頁  
令和7年11月4日  
14時12分50秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	法令に規定された市の責務を履行します。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	資源ごみを手軽かつ低廉に処分したい意向が認められます。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	事後対応の必要な苦情はありませんでした。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	合理性、経済性に留意しつつ、施設の維持管理に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	ごみの搬入量に対して、処理能力の不足は認められません。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	持続可能な循環型社会の構築には、ごみ減量化、資源再生の取組は欠かせないものであり、リサイクルプラザの役割は重要であると認識しています。ただし、経済性や効率性、省エネルギー化や安定処理の観点も踏まえて、施設の維持管理を図る必要があります。
2次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

9 頁  
令和 7年11月 4日  
14時12分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	007 せん定枝リサイクルプラント事業			
事業期間	平成13年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	農業経営を行う市民や園芸を楽しむ市民が
目的	たい肥を利用した農業・園芸を行うことができるようになります。
手段	市民が搬入したせん定枝を粉碎し、醸酵たい肥化を行います。
事務内容	せん定した枝葉をごみとして焼却するのではなく、自然還元による資源循環のためにたい肥を製造して市民等に配布します。

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	91,303	80,216	83,056
事業費	74,803	64,136	66,256
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	10,282	11,460	9,600
一般財源	64,521	52,676	56,656
人件費計	16,500	16,080	16,800
正規(人)	2.50	2.40	2.40
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	せん定枝1,246tを処理 、たい肥817tを配布しました。	せん定枝1,083tを処理 、たい肥723tを配布しました。	せん定枝1,171tを処理 、たい肥897tを配布します。
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート（2/2）

10 頁  
令和 7年11月 4日  
14時12分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
剪定枝葉処理量	t	1,150.00 1,246.00	0.00 1,083.00	1,171.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
2	いきいきたい肥の受取希望者が多く、常に抽選が必要な状況です。	目標に対する進捗状況	有効性
2	せん定枝処理量、たい肥配布量とも減少しました。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	合理性、経済性に配慮しつつ、適正な維持管理に努めています。	事業規模・サービス水準	公平性
1	周辺自治体では取組の少ない特色のある事業です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 持続可能な循環型社会の構築には、バイオマス技術を活用した資源化は欠かせないものであると認識していますが、事業の実施にあたっては経済性、効率性、省エネルギー化の観点との整合を図る必要があります。
1次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

11頁  
令和7年11月4日  
14時12分50秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02756 最終処分場事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	008 最終処分場事業			
事業期間	平成21年度～令和31年度	41年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	安城市が
目的	リサイクルプラザ等における中間処理で排出した再利用・再資源化が困難なごみを埋立処分します。
手段	市内唯一の埋立最終処分場として、埋立量の極小化に留意しつつ、破碎した不燃残渣のみを埋立しています。
事務内容	リサイクルプラザから出る処分できない埋立ごみ（不燃残渣）の処分場です。

## 【コスト】

	令和5年度 決算額	令和6年度 決算額	(単位:千円)	
			令和7年度 予算額	
トータルコスト	48,244	96,197	94,580	
事業費	44,284	90,837	88,980	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	44,284	90,837	88,980	
人件費計	3,960	5,360	5,600	
正規(人)	0.60	0.80	0.80	
その他経費	0	0	0	

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	搬入量447t（容量換算558m <sup>3</sup> ）の不燃残さを埋立処分しました。	搬入量424t（容量換算530m <sup>3</sup> ）の不燃残さを埋立処分しました。	搬入見込み量486t（容量換算608m <sup>3</sup> ）の不燃残さを埋立処分します。
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート（2/2）

12 頁  
令和 7年11月 4日  
14時12分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02756 最終処分場事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
最終処分場埋立量	t	600.00 447.00	0.00 424.00	486.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	市民ニーズの有無	必要性
1	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	目標に対する進捗状況	有効性
2	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	事業規模・サービス水準	公平性
	当面必要となる最終処分場の安定運用に努めています。		理由

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 新たな埋立処分場の設置は困難であるため、今後も再資源化を促進しつつ、埋立量の抑制による延命化を図り、長期間の供用が可能となるよう努めます。
1次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

13頁  
令和 7年11月 4日  
14時12分51秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02757 資源リサイクル事業

電話番号 0566-76-3053

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	009 資源リサイクル事業			
事業期間	平成14年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	広く市民が
目的	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになります。
手段	市内5箇所のリサイクルステーションを設置し、運営をシルバーパートナーセンターに業務委託を行い、市民の利便性に配慮し、資源ごみの分別促進を図ります。
事務内容	ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置、運営を実施します。

## 【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	44,054	45,125	48,098
事業費	37,454	37,755	40,398
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	11,797	12,359	5,180
一般財源	25,657	25,396	35,218
人件費計	6,600	7,370	7,700
正規(人)	1.00	1.10	1.10
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	リサイクルステーション資源回収量2,417t、古紙・古着資源ステーション収集量994tをリサイクルしました。	リサイクルステーション資源回収量2,359t、古紙・古着資源ステーション収集量958tをリサイクルしました。	リサイクルステーション資源回収量2,376t、古紙・古着資源ステーション収集量941tをリサイクルします。

# 事務事業評価シート（2/2）

14 頁  
令和 7年11月 4日  
14時12分51秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282210 ごみ資源循環課清掃事業所事業係  
事務事業 02757 資源リサイクル事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
リサイクルステーションの回収量	t	2,500.00 2,417.00	0.00 2,359.00	2,376.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
2		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
3		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民主体の資源循環の取組を可視化できます。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
3		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
4		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	資源を簡便に排出でき、利用日の制約がほとんどありません。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
5		2 目標を下回る進捗状況である	
6		3 進捗はかなり遅れている	
理由	新聞発行数の減少や書籍の電子化で、古紙搬入量は減少傾向です。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
7		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
8		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	利用促進のため、利便性の向上や周知に取り組んでいます。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
9		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
10		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と比較し、利便性は十分に確保できています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 これまでの取組により、市民のリサイクルに対する意識が向上し、循環型社会の形成に寄与しています。市民のニーズを把握し、引き続き更なる利便性の向上を図ります。
1次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント ( 400 文字 )	

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 7年11月 4日  
11時53分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係  
事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

電話番号 0566-92-0178

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	010 ごみ焼却施設管理事業			
事業期間	平成 9年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
重点戦略	マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	可燃ごみを安心して排出できることを目的とします。
手段	ごみ焼却施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や計画的な工事を実施することで施設の健全性を維持します。
事務内容	収集などにより搬入された可燃ごみを適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

## 【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	1,348,590	1,213,204	1,067,071
事業費	1,329,450	1,188,414	1,041,171
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	140,323	114,242	157,900
一般財源	1,189,127	1,074,172	883,271
人件費計	19,140	24,790	25,900
正規(人)	2.90	3.70	3.70
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	可燃ごみ49,204tを焼却処理しました。	可燃ごみ49,671tを焼却処理しました。	可燃ごみ50,510tを焼却処理します。
【事務事業活動実績】			

# 事務事業評価シート（2/2）

2頁  
令和7年11月4日  
11時53分55秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係  
事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設の故障による可燃ごみ搬入停止	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
法規制値を超える排気ガスの排出	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。	市民ニーズの有無	必要性
1	1 市民ニーズは充分にある		必要性
	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	3 市民ニーズはない又は不明である		
1	ごみ焼却施設は、市民生活に必要な事業です。	目標に対する進捗状況	有効性
1	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である		有効性
	2 目標を下回る進捗状況である		
	3 進捗はかなり遅れている		
2	施設の故障や基準値を上回る放流もなく順調に稼働しています。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
1	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		公平性
	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	維持管理を委託し、整備計画などを随時見直しを図っています。	事業規模・サービス水準	公平性
1	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。		公平性
	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	他自治体を参考に適切な時期に施設整備を行っていきます。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 今後も適切な保守管理及び計画的な工事を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 7年11月 4日  
11時53分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係  
事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

電話番号 0566-92-0178

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	011 ごみ焼却灰処分事業			
事業期間	平成 9年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・ごみ焼却灰溶融化事業			
備考				

## 【事業分析】

対象	市が
目的	処分先の環境を阻害することなく、安定的に焼却灰を処理できるようにすることを目的とします。
手段	本市は、焼却灰の最終処分場を所有していないことから、発生した焼却灰全てを市外に運搬・処分しています。処分先としましては、公益財団法人愛知臨海環境整備センター（アセック）や民間の最終処分事業者です。また、焼却灰の一部については再資源化処理としています。
事務内容	処分場を所管している相手方自治体と調和の協議を行い、安全かつ適正に処理を実施します。

## 【コスト】

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	(単位：千円)
トータルコスト	187,561	212,545	242,689	
事業費	184,921	209,195	239,189	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	184,921	209,195	239,189	
人件費計	2,640	3,350	3,500	
正規(人)	0.40	0.50	0.50	
その他経費	0	0	0	

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	実績量 ・埋立量 3,818 t ・再資源化量 2,378 t	実績量 ・埋立量 4,032 t ・再資源化量 2,413 t	予定量 ・埋立量 4,400 t ・再資源化量 2,400 t

# 事務事業評価シート（2/2）

4 頁  
令和 7年11月 4日  
11時53分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係  
事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
焼却灰の処分先	箇所	5.00 5.00	0.00 7.00	7.00 0.00
焼却灰の資源化率	%	35.29 38.38	0.00 37.44	35.29 0.00

## 【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	国・県・民間等との補完性	必要性
1	焼却後に発生する焼却灰は適正に処分する必要があります。	市民ニーズの有無	必要性
2	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である		必要性
1	焼却灰の処分場を持たない自治体の市民にとって必要な事業です。	目標に対する進捗状況	有効性
3	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている		有効性
1	適正に灰処分を行い、リサイクル率の向上に努めています。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
4	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		効率性
1	リスク分散などの観点から新規処分先の確保を行っています。	事業規模・サービス水準	公平性
5	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		公平性
1	独自の埋立処分場を持たない近隣市と同等の水準です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント ( 400 文字 )	災害時のリスク分散を考えた場合や現在委託する処分先も有限施設であるため、今後も処分先を検討する必要があります。また、環境負荷低減のための再資源化についても引き続き検討していきます。
2次コメント ( 400 文字 )	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント ( 400 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5 頁  
令和 7年11月 4日  
11時53分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係  
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

電話番号 0566-92-0178

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	012 し尿処理施設管理事業			
事業期間	昭和63年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
重点戦略	マニフェスト			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	し尿汚泥、浄化槽汚泥を安心して排出できることを目的とします。
手段	し尿処理施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や施設整備を実施することで、施設の健全性を維持します。
事務内容	収集搬入された生し尿や浄化槽汚泥等を適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

## 【コスト】

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	(単位:千円)	
			令和 7年度 予算額	
トータルコスト	177,210	208,543	160,644	
事業費	171,270	202,513	154,344	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	171,270	202,513	154,344	
人件費計	5,940	6,030	6,300	
正規(人)	0.90	0.90	0.90	
その他経費	0	0	0	

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	生し尿1,477KL、浄化槽汚泥27,459KL、農業集落排水汚泥786KLを処理しました。	生し尿1,399KL、浄化槽汚泥27,700KL、農業集落排水汚泥806KLを処理しました。	生し尿1,248KL、浄化槽汚泥28,370KL、農業集落排水汚泥842KLを処理します。

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和7年11月4日  
11時53分55秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001282410 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設管理係  
事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設の故障によるし尿 ・浄化槽汚泥搬入停止	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
法条例規制値を超える 放流水の排出	回	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	一般廃棄物処理は、市で行う事業として定められています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	し尿処理は、市民生活に必要な事業です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	施設の故障や基準値を上回る放流もなく順調に稼働しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	維持管理を委託し、整備計画などの随時見直しを図っています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	近隣市と比較しても同水準です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 今後も適切な保守点検や施設整備を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

1 頁

令和 7年11月19日  
13時12分01秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001282420 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設整備係  
事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

電話番号 0566-92-0178

## 【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	003 ばしょ			
分野別	005 16環境			
施策の取組	003 資源循環・ごみ減量			
事務事業	013 廃棄物処理施設整備事業			
事業期間	平成31年度～令和13年度	13年間		
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	平成31年度より事務事業名を以下のとおり変更しています。 ・（旧称）ごみ焼却施設等整備事業　・（改名）廃棄物処理施設整備事業			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	将来的に安心して廃棄物を排出できるよう施設の整備を行うことを目的とします。
手段	老朽化する廃棄物処理施設を安定的に稼働できるよう施設整備を進めます。
事務内容	施設整備に必要な各種計画の策定及び施設整備を実施します。

## 【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	37,122	54,288	377,822
県支出金	21,942	34,188	356,822
地方債	3,858	4,062	3,888
その他	0	0	0
一般財源	18,084	30,126	352,934
人件費計	15,180	20,100	21,000
正規（人）	2.30	3.00	3.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	長期包括契約による基幹的設備改良工事に向けた施設整備基本計画素案や実施方針案などを策定しました。	長期包括契約による基幹的設備改良工事に向けた施設整備基本計画及び長寿命化総合計画を策定しました。 PPP事業審議会を開催し、ごみ焼却施設等のD B O方式による請負業者を選定します。	PPP事業審議会を開催し、ごみ焼却施設等のD B O方式による請負業者の選定業務を進めました。

# 事務事業評価シート（2/2）

2頁  
令和7年11月19日  
13時12分01秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001282420 ごみ資源循環課環境クリーンセンター施設整備係

事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

## 【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ごみ焼却施設整備基本計画等の策定（進捗率）	%	68.34 68.34	0.00 31.66	0.00 0.00
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事発注支援事業（進捗率）	%	11.30 11.30	0.00 46.11	42.59 0.00
ごみ焼却施設生活環境影響調査（進捗率）	%	4.04 4.04	0.00 57.12	38.84 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	一般廃棄物の処理は自治体の責務において行う必要があります		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	一般廃棄物の処理は市民にとって必須の生活インフラです。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	目標どおりの進捗となっています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	施設の安定稼働のため効果的な発注方式の検討を行っています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	廃棄物処理施設整備・運営事業はD B O方式が広く用いられます。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和7年度はごみ焼却施設のD B O方式による請負業者の選定を行います。老朽化の対応と発電能力の増強等、基幹的設備改良工事の目的が達成できるよう、適切かつ適正な業務に努めます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。